

福井県におけるサギ類コロニーの分布と種構成 — 2011年サギ類コロニー調査の結果 —

日本野鳥の会福井県サギ類調査グループ*¹

要旨：2011年5月から6月にかけて、福井県内におけるサギ類コロニーの分布とその利用状況を調査した。これまでにサギ類コロニーが形成された履歴のある地点など73地点を調査し、うち49地点でサギ類の繁殖を確認した。確認したサギ類の営巣数の合計は、840巣であった。もっとも多く営巣した種はアオサギで、全体の75%を占めていた。ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギおよびコサギの営巣数は、それぞれサギ類の合計営巣数の11%、5%、6%、2%および1%を占めていた。2010年の調査と比較して、2011年のサギ類の営巣数や種構成には大きな変化はなかったが、チュウサギなどもともと営巣数が少ない種では営巣数に若干の変動があった。

キーワード：アオサギ、コロニー、チュウサギ、サギ類

Heron Research Group, Fukui Chapter of the Wild Bird Society of Japan*¹. 2011. Distribution and species composition of breeding colonies of herons in Fukui prefecture: Results of the 2011 census. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 16:11-20. We conducted a survey to study the distribution of the breeding colonies of herons in Fukui prefecture between May and June 2011. We found 49 breeding colonies at 73 survey points, including old and recently formed breeding sites. The total number of heron nests found was 840. The most common heron species was *Ardea cinerea*, occupying 75% of all nests found. The remaining nests were occupied by *Nycticorax nycticorax* (11%), *Bubulcus ibis* (5%), *Egretta alba* (6%), *E. intermedia* (2%), and *E. garzetta* (1%). In the 2011 census, the total number and species composition of heron nests were the same as in the 2010 census, except for a small number of species (e.g., *E. intermedia*) that showed slight variation in the number of nests.

Key words: *Ardea cinerea*, colony, *Egretta intermedia*, herons

はじめに

サギ類はコウノトリ目サギ科に属する大型の魚食性水鳥である。本州で繁殖するサギ類のうち、ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*、アカガシラサギ *Ardeola bacchus* (ただし稀；日本鳥類目録編集委員会 2000)、アマサギ *Bubulcus ibis*、ダイサギ *Egretta alba*、チュウサギ *E. intermedia*、コサギ *E. garzetta* およびアオサギ *Ardea cinerea* は、繁殖時に複数の種が混じり合っ

てコロニー(集団繁殖地)を形成することが知られている(中村・中村 1995)。

サギ類は絶滅の危機に瀕しているトキ *Nipponia nippon* やコウノトリ *Ciconia boyciana* と同様、農耕地や河川などで魚類やカエル、水生昆虫などの動物質を多く利用する高次捕食者であることから、水辺や農耕地の環境指標として注目されている(藤岡 1998；

中島ら 2006)。その一方で、サギ類のコロニーが住宅地など人間活動が活発な地域に近接している場合、糞や悪臭、鳴き声による騒音などが問題となる(佐々木 2001)。またサギ類の営巣は、同じように樹上に営巣する大型水鳥であるカワウ *Phalacrocorax carbo* と同様(石田 2002)、枝葉の折り取りや富栄養な糞の供給などにより、樹木の衰退や枯死を引き起こすことがある(渡辺 1997)。このため、サギ類のコロニーは野生動物と人間との軋轢の問題からも、注目される。

サギ類を環境指標として利用したり、あるいはサギ類の営巣により発生する諸問題について検討したりするためには、複数のコロニーにおいて種ごとの利用状況を把握することが必要である(藤岡 2002)。また、サギ類のコロニーは長期間の間に移動、消失したり、規模や種構成が変化したりするため(成末 1992)、その動態は広域的に継続して調査することが重要である。

日本野鳥の会福井県サギ類調査グループでは 2008

1 日本野鳥の会福井県 〒916-1116 福井県鯖江市川島町 33-38 酒井敬治方
Fukui Chapter of the Wild Bird Society of Japan c/o Keiji SAKAI, Kawashimacho 33-38, Sabae City, Fukui 916-1116, Japan.

* 執筆者：水谷瑞希 Written by Mizuki MIZUTANI. E-mail: mmizuki@fncc.jp.
福井県自然保護センター 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2
Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

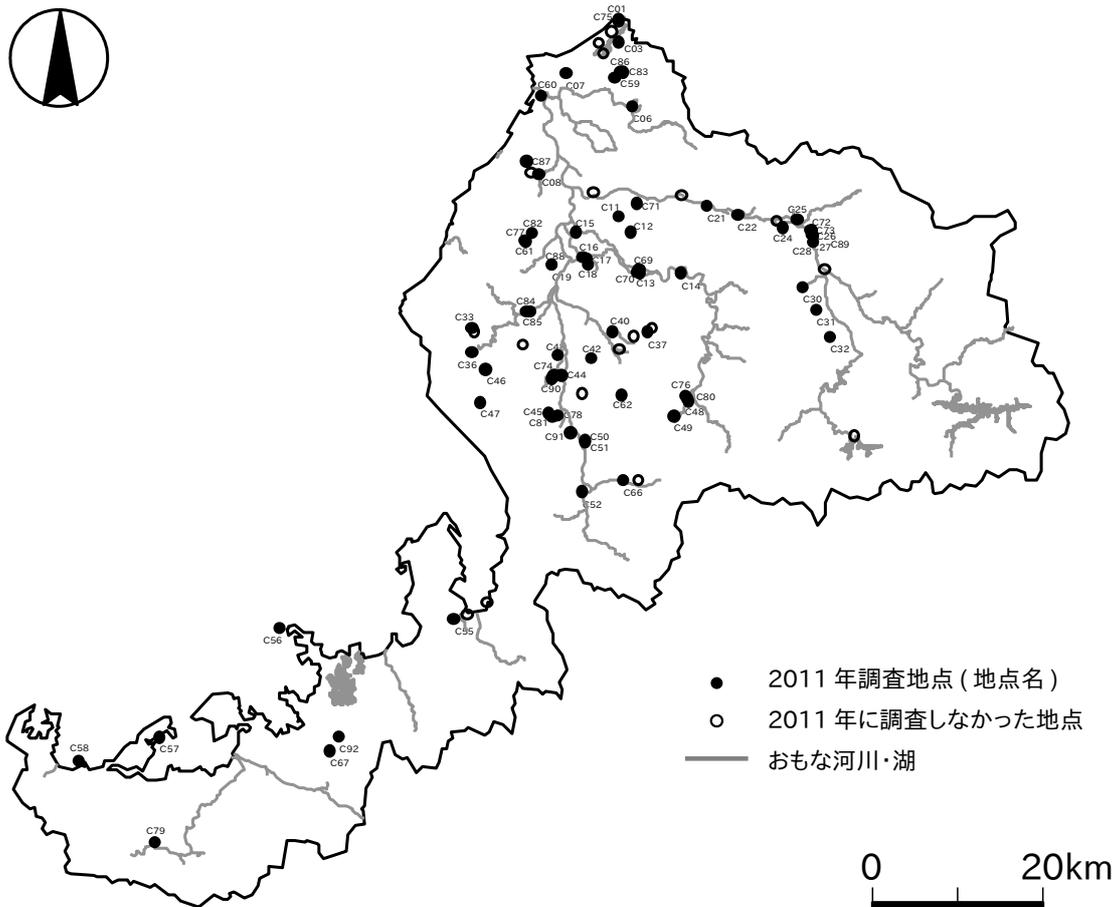


図1 調査したサギ類コロニーの分布.

年以降（日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ2008, 2009, 2010）、継続して福井県全域を対象としてサギ類コロニーの調査をおこなっている。本報告では2011年の調査結果を報告する。

調査地と調査方法

2011年5月から6月（ただし一部は7月）に、下記の条件に適合する地点を対象として調査を実施した。

- ・過去に実施した同様のサギ類コロニー調査（福井県自然保護センター2008；日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ2008, 2009, 2010）で確認した地点のうち、①2005年以降サギ類の営巣が一度も確認されなかった地点、②樹木の伐採などの理由で今後コロニーが形成される可能性が極めて低いと考えられる地点、を除く地点。

- ・調査期間中に、新たなコロニーの形成が確認された地点。

調査地点数は2010年の調査からの継続が66地点、2011年調査での新規発見が7地点で、計73地点となった（図1；表1）。

現地調査は、野鳥の同定、観察に習熟した調査員に、担当地点を割り当てて実施した。調査は5月下旬から6月上旬を中心に、地点ごとにサギ類の営巣数をもっとも多い時期に実施した。ただし、アオサギとその他のサギ類が共に利用しているコロニーの一部では、調査を複数回実施した。これはアオサギとその他のサギ類では、営巣のピークとなる時期が異なるためである。のべ調査回数は89回・地点であった。調査員は担当地点に形成されたサギ類コロニーの外部から、位置、植生、種ごとの個体数と営巣数を記録した。

表1 調査したサギ類コロニーの一覧。地点記号は過去に実施したサギ類コロニー調査の報告（福井県自然保護センター 2008; 日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ 2008, 2009, 2010）と共通である。ただし再調査の結果、地区名等が既報と変更になった地点がある。

地点記号	市町村名	地区名	営巣環境	3次メッシュ	経緯度 (WGS84 測地系)	標高 [m]	営巣の有無 [†]				
							2006	2008	2009	2010	2011
C01	あわら市	浜坂	社寺林	54363240	36°17'16" N, 136°14'49" E	18	○	○	X	X	X
C02	あわら市	浜坂	ゴルフ場	54363129	36°16'27" N, 136°14'16" E	39	X	X	X	-	-
C03	あわら市	細呂木	社寺林	54363119	36°15'46" N, 136°14'48" E	10	○	○	○	○	○
C04	あわら市	北潟	(不明)	54363117	36°15'42" N, 136°13'17" E	18	X	X	-	-	-
C05	あわら市	赤尾	社寺林	54362198	36°15'04" N, 136°13'36" E	8	X	X	X	-	-
C06	あわら市	東田中	孤立林	54362221	36°11'40" N, 136°15'54" E	9	○	○	○	○	●
C07	坂井市	加戸大堤	水辺林	54362174	36°13'46" N, 136°10'41" E	10	○	○	○	○	○
C08	福井市	八幡町	山林	54361141	36°07'18" N, 136°08'33" E	18	○	○	○	○	X
C09	福井市	燈豊町	社寺林	54361140	36°07'23" N, 136°07'56" E	42	-	-	-	-	-
C10	福井市	天池町	河畔林	54361117	36°06'08" N, 136°12'52" E	4	X	X	X	-	-
C11	福井市	丸山	孤立丘陵	54360280	36°04'36" N, 136°14'49" E	45	○	○	●	○	○
C12	福井市	印田町	社寺林	54360261	36°03'37" N, 136°15'47" E	9	○	○	○	○	○
C13	福井市	東郷二ヶ町	社寺林	54360212	36°00'59" N, 136°16'27" E	17	○	●	X	X	X
C14	福井市	市波	社寺林	54360216	36°00'59" N, 136°19'42" E	78	○	○	○	○	○
C15	福井市	加茂河原	社寺林	54360165	36°03'37" N, 136°11'27" E	12	●	○	○	○	○
C16	福井市	江守中町	社寺林	54360136	36°01'59" N, 136°12'01" E	8	○	○	○	○	○
C17	福井市	舞屋町	社寺林	54360136	36°01'55" N, 136°12'17" E	8	○	○	○	○	○
C18	福井市	下荒井町	社寺林	54360126	36°01'30" N, 136°12'25" E	8	○	○	○	○	○
C19	福井市	片山	社寺林	54360123	36°01'14" N, 136°09'37" E	19	○	X	X	X	X
C20	永平寺町	東古市	社寺林	54361216	36°05'57" N, 136°19'47" E	39	X	X	X	-	-
C21	永平寺町	轟	屋敷林	54361209	36°05'18" N, 136°21'47" E	49	○	X	X	X	○
C22	永平寺町	上志比清水	社寺林	54360392	36°04'44" N, 136°24'12" E	65	○	○	○	○	X
C23	勝山市	北郷町	河畔林	54360386	36°04'20" N, 136°27'14" E	91	-	-	-	-	-
C24	勝山市	鹿谷町志田	社寺林	54360377	36°03'53" N, 136°27'42" E	105	X	○	○	○	○
C25	勝山市	荒土町新保	社寺林	54360388	36°04'27" N, 136°28'50" E	116	○	○	○	○	○
C26	勝山市	沢町	社寺林	54360470	36°03'46" N, 136°29'54" E	124	○	○	○	○	○
C27	勝山市	元町	社寺林	54360460	36°03'30" N, 136°29'59" E	127	○	○	○	○	○
C28	勝山市	立川町	社寺林	54360450	36°02'59" N, 136°30'07" E	129	○	○	X	X	X
C29	勝山市	下荒井	河畔林	54360421	36°01'14" N, 136°30'59" E	156	X	X	X	-	-
C30	大野市	庄林	社寺林	53367399	36°00'05" N, 136°29'15" E	165	○	○	○	○	○
C31	大野市	東中	社寺林	53367460	35°58'37" N, 136°30'20" E	179	●	●	○	●	●
C32	大野市	稲郷	社寺林	53367432	35°56'55" N, 136°31'24" E	203	○	○	○	○	○
C33	越前町	織田	社寺林	53367044	35°57'28" N, 136°03'19" E	117	○	○	○	○	○
C34	越前町	織田	山林	53367044	35°57'13" N, 136°03'31" E	110	X	-	X	-	-
C35	越前町	大谷	社寺林	53367029	35°56'23" N, 136°07'17" E	68	-	-	-	-	-
C36	越前町	小曾原	山林	53367014	35°55'55" N, 136°03'18" E	109	○	X	X	X	X
C37	鯖江市	東清水町	屋敷林	53367243	35°57'13" N, 136°17'06" E	47	○	●	●	○	○
C38	鯖江市	寺中町	社寺林	53367243	35°57'27" N, 136°17'26" E	89	-	-	-	-	-
C39	鯖江市	河和田	山林	53367231	35°56'57" N, 136°16'01" E	60	X	X	X	-	-
C40	鯖江市	落井町	社寺林	53367149	35°57'13" N, 136°14'19" E	30	○	○	○	○	X
C41	越前市	西庄境	社寺林	53367210	35°56'06" N, 136°14'53" E	24	X	X	X	-	-
C42	越前市	中新庄	社寺林	53367107	35°55'31" N, 136°12'41" E	33	○	●	○	●	●
C43	越前市	家久町	孤立丘陵	53367113	35°55'46" N, 136°10'04" E	25	X	●	●	X	X
C44	越前市	日野川豊橋上流	河畔林	53366184	35°54'27" N, 136°10'20" E	29	●	X	X	X	X
C45	越前市	塚原町	屋敷林, 社寺林	53366132	35°52'01" N, 136°09'18" E	54	○	○	○	X	X
C46	越前市	安養寺	社寺林	53366096	35°54'50" N, 136°04'25" E	153	X	○	X	X	X
C47	越前市	丸岡町	社寺林	53366055	35°52'42" N, 136°03'59" E	157	○	X	X	X	X
C48	池田町	市	社寺林	53366257	35°52'59" N, 136°20'13" E	227	○	○	X	X	X
C49	池田町	西角間	山林, 社寺林	53366235	35°51'50" N, 136°19'10" E	259	○	○	○	○	○
C50	南越前町	鑄物師	社寺林	53366106	35°50'18" N, 136°12'11" E	109	○	○	-	X	X
C51	南越前町	鑄物師	屋敷林	53365196	35°50'11" N, 136°12'14" E	78	○	○	X	X	X
C52	南越前町	燧	水辺林	53365136	35°46'58" N, 136°12'00" E	145	○	○	○	○	○
C53	敦賀市	金ヶ崎町	山林, 社寺林	53363096	35°39'53" N, 136°04'32" E	56	X	X	X	-	-
C54	敦賀市	松原町	小学校	53363074	35°39'09" N, 136°03'00" E	2	X	X	X	-	-
C55	敦賀市	木崎	山林	53363072	35°38'50" N, 136°01'57" E	16	●	●	●	●	●
C56	若狭町	御神島	島嶼	53353664	35°38'16" N, 135°48'20" E	181	○	○	○	○	○
C57	おおい町	冠者島	島嶼	53352522	35°31'16" N, 135°38'58" E	9	○	○	○	○	○
C58	高浜町	鷹島	島嶼	53351493	35°29'46" N, 135°32'42" E	7	●	●	●	●	●
C59	あわら市	細呂木高塚	山林	54362169	36°13'31" N, 136°14'30" E	8	-	○	○	○	○
C60	坂井市	三国町新保	河畔林	54362141	36°12'20" N, 136°08'44" E	2	-	○	X	X	X

† ●: 営巣あり (50 巣以上), ○: 営巣あり (50 巣未満), X: 営巣なし, -: 調査せず。

表 1 (続き).

地点 記号	市町村名	地区名	営巣環境	3次 メッシュ	経緯度 (WGS84 測地系)	標高 [m]	営巣の有無 [†]				
							2006	2008	2009	2010	2011
C61	福井市	本堂町桜ヶ丘	山林	54360150	36°02'59" N, 136°07'33" E	81	—	—	X	X	X
C62	越前市	松尾谷町	社寺林	53366250	35°53'10" N, 136°15'01" E	96	—	○	○	○	○
C63	越前市	庄田町	屋敷林, 社寺林	53366166	35°53'15" N, 136°11'57" E	39	—	X	X	—	—
C64	越前市	深草町	社寺林	53366183	35°54'21" N, 136°09'40" E	32	—	X	X	—	—
C65	南越前町	上温谷	山林, 屋敷林	53365252	35°47'42" N, 136°16'20" E	172	—	X	X	—	—
C66	南越前町	古木	屋敷林	53365250	35°47'43" N, 136°15'09" E	146	—	○	X	X	X
C67	若狭町	三田	山林	53352609	35°30'23" N, 135°52'16" E	66	—	○	X	X	X
C68	大野市	笹生川ダム	ダム湖	53366404	35°50'33" N, 136°33'15" E	526	—	—	X	—	—
C69	福井市	中毘沙門町	社寺林	54360222	36°01'15" N, 136°16'25" E	16	—	—	○	○	●
C70	福井市	東郷二ヶ町	社寺林	54360211	36°01'04" N, 136°16'16" E	16	—	—	○	○	○
C71	福井市	東藤島	社寺林	54361202	36°05'26" N, 136°16'15" E	16	—	—	○	○	○
C72	勝山市	元町	社寺林	54360470	36°03'42" N, 136°30'00" E	126	—	—	○	○	○
C73	勝山市	元町	社寺林	54360460	36°03'22" N, 136°30'05" E	130	—	—	○	○	X
C74	越前市	本多	社寺林	53366183	35°54'27" N, 136°09'46" E	32	—	—	○	○	○
C75	あわら市	浜坂	山林	54363230	36°17'08" N, 136°14'51" E	10	—	—	○	○	○
C76	池田町	市	河畔林	53366256	35°53'09" N, 136°20'02" E	255	—	—	○	X	X
C77	福井市	本堂町桜ヶ丘	山林	54360150	36°03'04" N, 136°07'28" E	82	—	—	○	X	X
C78	越前市	今宿	社寺林	53366133	35°51'54" N, 136°10'03" E	51	—	—	—	●	○
C79	おおい町	名田庄下	河畔林	53350581	35°24'34" N, 135°38'41" E	114	—	—	—	○	○
C80	池田町	市	社寺林	53366257	35°52'48" N, 136°20'18" E	245	—	—	—	○	X
C81	越前市	四郎丸	人工林	53366133	35°51'46" N, 136°09'38" E	98	—	—	—	○	○
C82	福井市	西安居	屋敷林	54360160	36°03'37" N, 136°07'43" E	56	—	—	—	○	○
C83	あわら市	青ノ木	社寺林	54362270	36°13'54" N, 136°15'01" E	19	—	—	—	○	○
C84	越前町	内郡	社寺林	53367160	35°58'32" N, 136°07'34" E	15	—	—	—	○	○
C85	越前町	西田中	屋敷林	53367160	35°58'31" N, 136°07'52" E	13	—	—	—	○	○
C86	あわら市	宮谷	山林	54362270	36°13'50" N, 136°15'12" E	20	—	—	—	—	○
C87	福井市	小野町	山林	54361150	36°08'09" N, 136°07'35" E	97	—	—	—	—	○
C88	福井市	片山町	山林	54360123	36°01'33" N, 136°09'35" E	15	—	—	—	—	○
C89	勝山市	元町	社寺林	54360460	36°03'27" N, 136°30'00" E	129	—	—	—	—	○
C90	越前市	深草1丁目	社寺林	53366182	35°54'13" N, 136°09'34" E	33	—	—	—	—	○
C91	南越前町	嶋	社寺林	53366115	35°50'47" N, 136°11'05" E	61	—	—	—	—	○
C92	若狭町	東黒田	山林	53352720	35°31'17" N, 135°53'01" E	56	—	—	—	—	○

† ●: 営巣あり (50 巣以上), ○: 営巣あり (50 巣未満), X: 営巣なし, —: 調査せず.

なお、コロニーを利用するサギ類の個体数を適切に把握するためには、日の出や日没前後にコロニーへの出入り数をカウントし、就峙個体数を把握する必要がある (e.g. 植竹 2007)。しかし本調査は広範囲かつ多地点を調査対象とするため、このような長時間を要するコロニーへの出入り調査はおこなっていない。このため、種構成の評価には営巣数のみを用いた。また巣が樹木の枝葉で隠れていたり、営巣木が観察地点よりも高所や遠方にあたりやすいため、コロニー全体が見渡せない場合が多かった。このため、本調査の営巣数は実際よりも過小評価となっている可能性がある。

結果

サギ類の営巣数と種構成

全調査地点 73 地点のうち、49 地点でサギ類の営巣が確認された (表 1)。営巣が確認されたコロニーのう

ち、43 地点 (88 %) は嶺北、6 地点 (12 %) は嶺南に位置していた (図 2)。営巣が確認されたサギ類は、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギおよびアオサギの 6 種であった (表 2)。

2011 年のサギ類の合計営巣数は 840 巣であり、2010 年の合計営巣数 (807 巣) と比較して 4 % 増加した。嶺北のコロニーにおける合計営巣数は 688 巣 (82 %)、嶺南のコロニーにおける合計営巣数は 152 巣 (18 %) であった。

営巣数をもっとも多かったのはアオサギで、全体の 75 % を占めていた (図 3)。ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギおよびコサギの営巣数は、それぞれサギ類の合計営巣数の 11 %, 5 %, 6 %, 2 % および 1 % を占めていた。

営巣したサギ類の種類は 2010 年、2011 年とも同じで、その種構成には若干の変動は見られるものの、大きな変化はなかった。

表2 コロニーごとの個体数と営巣数.

地点 記号	調査日 [†]	ゴイサギ <i>N. nycticorax</i>		アマサギ <i>B. ibis</i>		ダイサギ <i>E. alba</i>		チュウサギ <i>E. intermedia</i>		コサギ <i>E. garzetta</i>		アオサギ <i>A. cinerea</i>		2011年 合計 営巣数 [巣]	2010年 合計 営巣数 [巣]
		個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]		
C01	5/26													0	0
C03	5/26													3	9
C06	5/25,7/10	4	3							2	2	43	52	57	49
C07	5/18											24	13	13	19
C08	6/19													0	16
C11	5/24											11	13	13	21
C12	5/24											19	13	13	8
C13	5/16													0	0
C14	5/16,6/13											36	27	27	30
C15	6/2,26					42	17					33	23	40	24
C16	6/2											12	6	6	7
C17	6/2,26	40	20									15	12	32	5
C18	6/2											15	6	6	6
C19	6/2													0	0
C21	6/5											5	2	2	0
C22	6/5													0	8
C24	5/21											5	3	3	6
C25	5/21	1	1									10	6	7	17
C26	5/21											14	9	9	11
C27	5/21											8	4	4	5
C28	5/21													0	0
C30	5/13											5	5	5	7
C31	5/13,6/13	9	7	19	10	8	5	5	2	4	3	30	27	54	62
C32	5/13											2	2	2	7
C33	5/4					9	7					11	6	13	12
C36	5/26													0	0
C37	5/12,6/19											2	40	40	34
C40	5/12													0	2
C42	5/18,6/19	25	20	40	29	25	21	15	10			39	33	113	51
C43	5/18													0	0
C44	6/2													0	0
C45	6/2													0	0
C46	5/29													0	0
C47	5/29													0	0
C48	5/21													0	0
C49	5/21											52	20	20	25
C50	6/12													0	0
C51	6/12													0	0
C52	6/8											2	2	2	7
C55	5/15,6/3	6	3	17		5	2					109	53	58	51
C56	5/24											35	24	24	17
C57	5/24									2		4	4	4	6
C58	5/21,7/23	4	1					8	1	14	4	92	55	61	60
C59	5/24											2	1	1	3
C60	5/26													0	0
C61	6/2													0	0
C62	5/6											18	6	6	7
C66	6/12													0	0
C67	5/4													0	0
C69	5/16,6/13	51	33									31	19	52	16
C70	5/16,6/13											17	13	13	26
C71	6/5											15	10	10	10
C72	5/21	8	4									14	9	13	5
C73	5/21													0	1
C74	6/2											6	3	3	7
C75	5/24,5/26											21	10	10	3
C76	5/21													0	0
C77	6/2													0	0
C78	5/6,6/2,18			1				3	1	5	3	36	20	24	65
C79	5/8											3	4	4	4

† 複数回調査をおこなった地点では、種ごとに営巣数が多かった日の結果を示した。

表 2 (続き).

地点 記号	調査日 [†]	ゴイサギ <i>N. nycticorax</i>		アマサギ <i>B. ibis</i>		ダイサギ <i>E. alba</i>		チュウサギ <i>E. intermedia</i>		コサギ <i>E. garzetta</i>		アオサギ <i>A. cinerea</i>		2011年 合計 営巣数 [巣]	2010年 合計 営巣数 [巣]
		個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]	個体数 [羽]	営巣数 [巣]		
C80	5/21													0	8
C81	5/6,6/18											11	3	3	33
C82	6/2											18	10	10	10
C83	5/24											3	2	2	13
C84	5/4,26	2	1			4	2					7	8	11	10
C85	5/26											5	2	2	4
C86	5/24											21	13	13	—
C87	5/12											27	23	23	—
C88	6/2											2	1	1	—
C89	5/21											5	3	3	—
C90	7/4											1	1	1	—
C91	6/8											10	3	3	—
C92	6/5											3	1	1	—
合計		150	93	77	39	93	54	31	14	27	12	915	628	840	807

[†] 複数回調査をおこなった地点では、種ごとに営巣数が多かった日の結果を示した。

大規模なコロニー

営巣数が50巣以上のコロニーは6地点あった(表2): C06(あわら市東田中; 図4), C31(大野市東中; 図5), C42(越前市中新庄; 図6), C55(敦賀市木崎; 図7), C58(高浜町鷹島; 図8), C69(福井市中毘沙門町; 図9)。これらはいずれも成立2年目以上の、複数種のサギ類によって構成されたコロニーであった。2010年の大規模コロニーのうち、C78(越前市今宿)では花火による追い払いにより、営巣数が減少した。

チュウサギの営巣

チュウサギは、本調査で営巣が確認されたサギ類の中で唯一、絶滅危惧種に指定されている種である。チュウサギは環境省レッドリストでは準絶滅危惧種(NT)に(環境省自然環境局野生生物課2006)、福井県レッドデータブックでは県域準絶滅危惧種に(福井県福祉環境部自然保護課2002)、それぞれ指定されている。

チュウサギの営巣数は14巣で、2010年の営巣数(41巣)より減少し、調査開始後最少となった。チュウサギは、以下の4か所のコロニーで営巣が確認された(表2): C31(大野市東中; 図5), C42(越前市中新庄; 図6), C58(高浜町鷹島; 図8), C78(越前市

今宿)。

森林被害

営巣木の衰退や枯死は、11か所のコロニーで報告された。営巣木の衰退は、以下の9か所のコロニーで報告された: C06(あわら市東田中; 図4), C07(坂井市加戸大堤), C37(鯖江市東清水町), C50(南越前町鋳物師), C51(南越前町鋳物師), C52(南越前町燧), C66(南越前町古木), C82(福井市西安居), C90(越前市深草1丁目)。また、営巣木の枯死は、以下の2か所のコロニーで報告された: C57(おおい町冠者島), C58(高浜町鷹島; 図8)。営巣木の衰退や枯死が報告されたコロニーには大規模コロニーだけでなく、すでに営巣が停止したコロニーも含まれていた。

考察

福井県内におけるサギ類の営巣数は2010年に減少し、2011年にはこれと同程度であった(図3)。2010年にサギ類の営巣数が減少したおもな要因は、大規模なコロニー(C43(越前市家久町))の消失である(日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ2010)。従来このコロニーで営巣していた個体が、他のコロニーに分散した可能性があるが、2011年調査においても

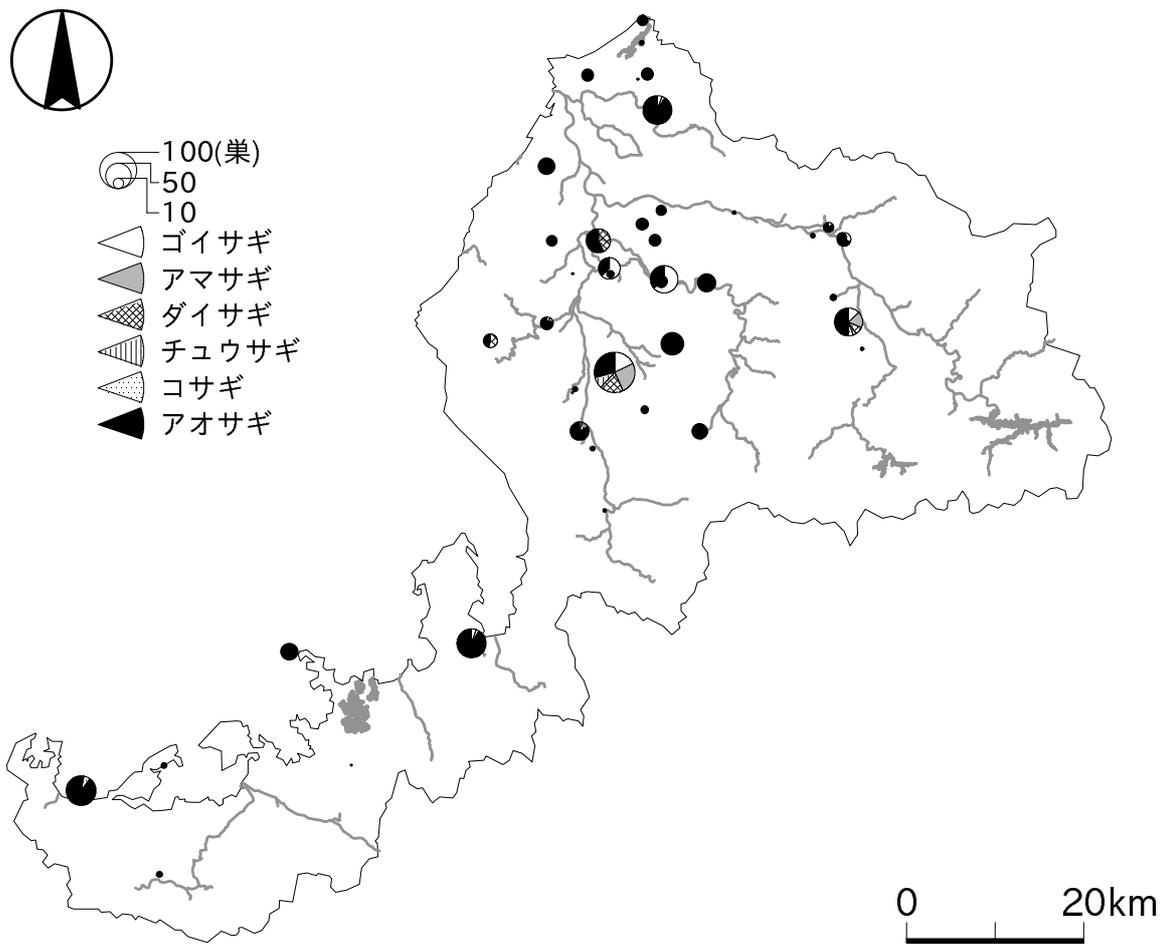


図2 サギ類の営巣数と種構成の分布.

そのような新規大規模コロニーは発見されなかった。このため現時点では福島県内におけるサギ類の営巣数は、2009年よりも少ないレベルにあると推察されるが、移動先の新規大規模コロニーがまだ発見出来ない可能性も残っている。

サギ類の営巣による樹木の衰退等は、73地点中11地点で報告された。サギ類の営巣による森林被害は、生活環境被害とともに人間との軋轢を生む要因である。樹木の衰退はコロニーの規模によらず確認されたが、これには実際の樹木の衰退度だけでなく、その原因や評価に対する調査者の主観的な差が影響している可能性が考えられることから、さらに精査が必要である。

絶滅危惧種であるチュウサギの2011年の営巣数は、過去最低となった(図3)。チュウサギが営巣するよ

うな、複数種によって構成される大規模コロニーそのものも以前と比べて減っており、サギ類コロニーの動態については、今後も注意深く見守っていく必要がある。

日本野鳥の会福島県[†]サギ類調査グループ

調査報告の取りまとめは香川正行が担当した。

現地調査参加者は下記の通り(五十音順, 敬称略): 井尻雅己, 宇野竜司, 大西五十二, 大橋正明, 納村力, 納村紀子, 香川正行, 組頭五十夫, 小嶋明男, 酒井敬治, 鈴木文夫, 須本一郎, 高田雄治, 辻義次, 土田孝幸, 中林喜悦, 藤本尚子, 堀孝敏, 門前孝也, 柳町邦

[†] 2011年4月に日本野鳥の会福島県支部より名称変更

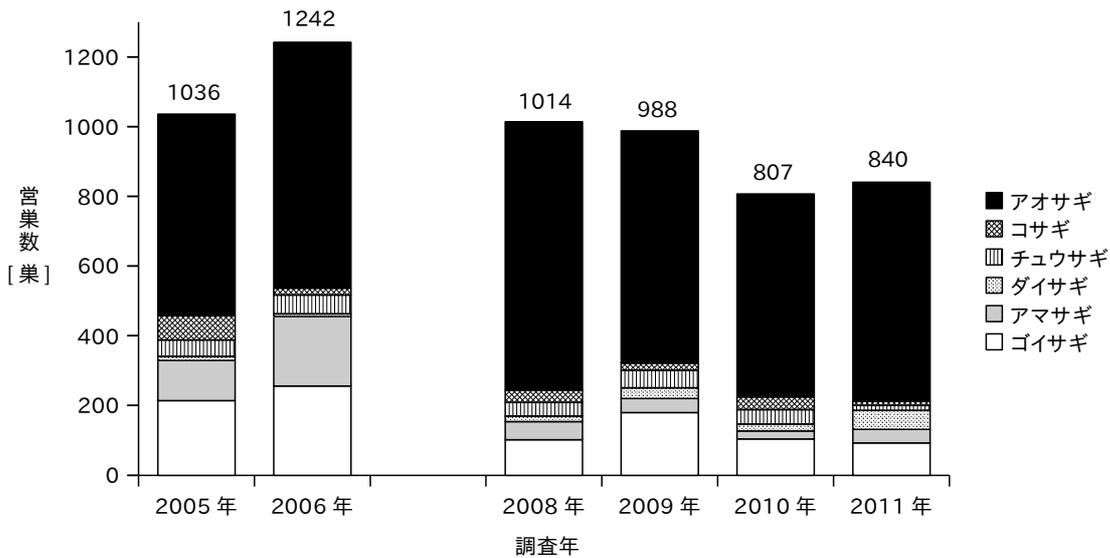


図3 サギ類の営巣種構成の経年変化。グラフ上の数字は合計営巣数。2005, 2006年の結果は福井県自然保護センター(2008)に, 2008, 2009, 2010年の結果は日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ(2008, 2009, 2010)による。

光, 横山大八, 楽間準二.

引用文献

藤岡正博. 1998. サギが警告する田んぼの危機. 江崎保男・田中哲男(編)水辺環境の保全—生物群集の視点から. 朝倉書店, 東京. pp. 34-52.

藤岡正博. 2002. サギ山を見てみよう. 野鳥 654: 4-9.

福井県福祉環境部自然保護課(編). 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生動物: 福井県レッドデータブック(動物編)2002. 福井県, 福井.

福井県自然保護センター. 2008. 福井県におけるサギ類コロニーの分布と種構成: 渡り鳥保全調査事業2005, 2006年度. Ciconia(福井県自然保護センター研究報告) 13:11-19.

石田朗. 2002. カワウのコロニーや集団ねぐらによる森林生態系への影響. 日本鳥学会誌 51:29-36.

環境省自然環境局野生生物課. 2006. 鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて(平成18年12月22日付け報道発表資料). 環境省自然環境局野生生物課, 東京.

中島拓・江崎保男・中上喜史・大迫義人. 2006. 水田と河川、コウノトリ野生復帰地での餌場の相対的価値: 豊岡盆地に生息するサギ類を指標として.

保全生態学研究 11:35-42.

中村登流・中村雅彦. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社, 東京.

成末雅恵. 1992. 埼玉県におけるサギ類の集団繁殖地の変遷. Strix(日本野鳥の会研究報告) 11:189-209.

日本鳥類目録編集委員会(編). 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 日本鳥学会, 帯広.

日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ. 2008. 福井県におけるサギ類コロニーの分布と種構成: 2008年サギ類コロニー調査の結果. Ciconia(福井県自然保護センター研究報告) 13:21-28.

日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ. 2009. 福井県におけるサギ類コロニーの分布と種構成: 2009年サギ類コロニー調査の結果. Ciconia(福井県自然保護センター研究報告) 14:11-20.

日本野鳥の会福井県支部サギ類調査グループ. 2010. 福井県におけるサギ類コロニーの分布と種構成: 2010年サギ類コロニー調査の結果. Ciconia(福井県自然保護センター研究報告) 15:23-31.

佐々木凡子. 2001. 京都府におけるサギ類の集団繁殖地の分布と保護. Strix(日本野鳥の会研究報告) 19:149-160.

植竹孝. 2007. 茨城県常陸太田市におけるシラサギ

類の集団繁殖地の観察記録. *Strix* (日本野鳥の会
研究報告) 25:185-190.

渡辺央. 1997. 長岡市悠久山公園のサギ営巣地にお
ける営巣樹の枯死と営巣の関係. 長岡市立科学博
物館研究報告 32:21-26.



図 4 C06 (あわら市東田中).



図 7 C55 (敦賀市木崎).



図 5 C31 (大野市東中).



図 8 C58 (高浜町鷹島).



図 6 C42 (越前市中新庄).



図 9 C69 (福井市中毘沙門町).